

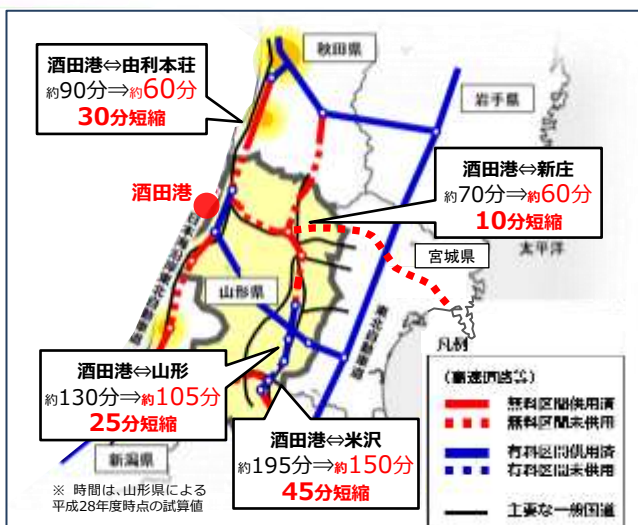
# 第2章 実現に向けた取り組み

## 目指すべき方向性 - 1 : 新規貨物の創出と港湾機能の強化

### 施策 1 - 1 : 国際ターミナルの機能拡充

道路整備の進展による物流圏域の拡大、対岸諸国の経済情勢や輸送環境の変化を見据えながら、物流関連施設等の整備促進や国際ターミナルの機能拡充を図るとともに、新規航路の開拓を目指します。

#### 道路整備による物流圏域の拡大



物流圏域の拡大による  
貨物の取り込み

#### 国際ターミナルの機能拡充のイメージ



増加貨物への対応、隣接企業との連携、物流関連施設、農林水産物輸出関連施設の整備（トラックターミナル、物流倉庫、冷蔵・冷凍倉庫、危険物倉庫）



国際ターミナルの将来利用イメージ



酒田港のコンテナ取扱貨物量は、平成26年から4年連続過去最高を更新するなど、増加傾向にあります。また、今後は無料区間の道路整備の進展により、酒田港までのアクセスの利便性や信頼性が向上することで物流圏域が拡大し、今後とも貨物量が増加すると見込まれています。さらに、対岸諸国の経済情勢の進展による経済交流の活発化、輸送環境の変化が想定されます。

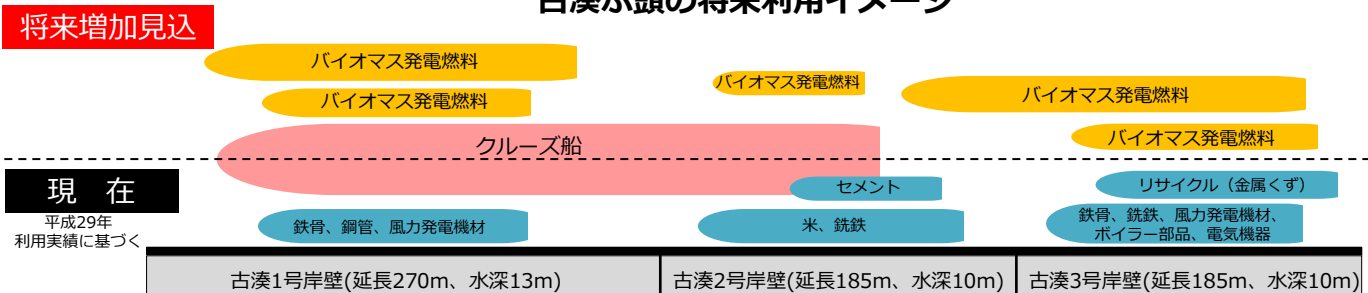
このような環境変化に対応できる国際ターミナルを目指し、背後用地への物流関連機能の誘致や隣接企業との連携などの機能拡充を図るとともに、新規航路の開拓を目指します。

# 目指すべき方向性 - 1 : 新規貨物の創出と港湾機能の強化

## 施策 1 - 2 : 岸壁利用の効率化

クルーズ船の寄港やバルク貨物（バイオマス発電燃料）の増加に対応したふ頭利用の見直しや新規岸壁の整備により、岸壁利用の効率化を図る。

### 古湊ふ頭の将来利用イメージ



※現在利用している貨物の船舶表示はまとめて記載している。

現在 + 将来増加見込の利用船舶すべてを受け入れることは困難

- ・ふ頭利用の見直し
- ・新規岸壁の整備



大型クルーズ船寄港の増加やバイオマス発電施設の立地に伴い、水深が深く延長が長い岸壁がある古湊ふ頭を利用する船舶の増加が見込まれています。  
 このような状況に対応するため、新規岸壁の整備やふ頭利用の見直しを行い、岸壁利用の効率化を図ります。



## 目指すべき方向性 - 1 : 新規貨物の創出と港湾機能の強化

### 施策 1 - 3 : 農林水産物・食品の輸移出拠点の形成

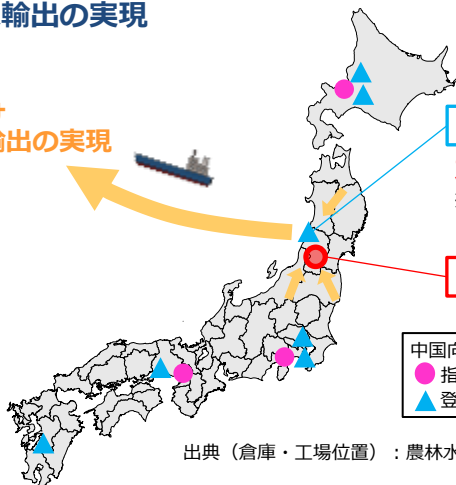
農林水産物・食品の海上輸送に必要な施設整備やフェリー・RORO船の誘致により、山形県・近隣県の農林水産物・食品の輸移出の拠点化を目指す。

#### ■ 酒田港利用による中国向け精米輸出の実現



山形県をはじめとする米の主産地である東北各県産の米の輸出を実現するため、酒田港西ふ頭くん蒸上屋を活用、精米工場の指定を促進

中国向け  
精米輸出の実現



酒田港西ふ頭くん蒸上屋※

東北では酒田港のみ登録

※平成30年5月に中国向け精米を輸出できる  
くん蒸倉庫に登録

精米工場の指定促進

中国向け  
● 指定精米工場  
▲ 登録くん蒸倉庫

出典（倉庫・工場位置）：農林水産省「需要に応じた生産・販売の推進に係る  
全国会議（平成30年11月30日）」資料

中国向け精米輸出の実現を足がかりに、農林水産物・食品の輸移出の拡大

#### 農林水産物・食品の輸移出拠点のイメージ

農林水産物・  
食品の輸移出



コンテナ・フェリー・  
RORO船の活用

県産品の  
輸移出



地理的表示「山形」の清酒

酒田港

#### ■ フェリー・RORO船の就航

貨物輸送による環境負荷低減やトラックドライバー不足への対応のため、モーダルシフトの推進としてフェリー・RORO船を誘致

#### ■ 受入機能の拡充

農林水産物・食品の輸移出関連施設の整備  
(定温倉庫、冷蔵・冷凍倉庫等)

酒田港には、東北地方で唯一、中国向け精米輸出に対応したくん蒸倉庫があります。この強みを活かし、中国向け精米輸出に対応した精米工場の指定を促進し、山形県をはじめとする米の主産地である東北各県産の米の中国向け輸出の拡大を図ります。さらに、フェリー・RORO船の就航や農林水産物輸出関連施設の整備を通じて、農林水産物・食品の輸移出拠点の形成を目指します。

※RORO船：貨物を積んだトラックやシャーシ(荷台)ごと輸送する船舶のこと。乗客定員12名以下。  
Roll-on Roll-off shipの略。

## 目指すべき方向性 - 1 : 新規貨物の創出と港湾機能の強化

### 施策 1 - 4 : 風力発電設備の物流基地としての活用

風力発電設備の部材の荷揚げ、組立て及びメンテナンスが可能な港として、岸壁の強化やふ頭用地の確保などにより、風力発電設備の物流基地の形成を目指す。

#### 洋上風力

酒田港近隣に風況の良好な海域があり、導入可能性について検討中

#### 陸上風力

新設、更新の需要あり



酒田港北港地区の風力発電状況



風力発電部材の荷揚げ状況 (古湊ふ頭)

風力発電設備の部材の荷揚げ、組立て、メンテナンスの拠点化

### 風力発電設備の物流基地のイメージ



風力発電設備の物流基地のイメージ



拠点の役割のイメージ

酒田港及びその周辺には多くの風力発電施設が立地しており、今後は陸上はもとより、周辺の一般海域での洋上風力発電施設の整備や、それらのメンテナンス、更新の需要が発生すると考えられます。

こうした需要に対応するため、風力発電設備の部材の荷揚げ、組み立て、メンテナンスを行う物流基地の形成を目指します。

## 目指すべき方向性-2：リサイクルポートの高度化

### 施策2-1：鉄スクラップ資源の輸出の効率化

鉄スクラップ輸出先の遠隔地化・多様化に対応するため、日本海側のリサイクルポート間で連携し、鉄スクラップの効率的な輸出を目指す。

#### 鉄スクラップ輸出先の遠隔地化



出典：「第1回 リサイクルポート施策の高度化研究会  
(平成29年11月24日、国土交通省港湾局)」に基づき作成

#### 酒田港で扱われる鉄スクラップ



### 鉄スクラップ資源の輸出の効率化のイメージ

#### リサイクルポート間の連携

- ・国内地域別のスクラップの発生見込み、集荷能力等の分析、情報共有
- ・海外の鋼材・スクラップ需要の情報共有

#### 必要に応じた整備

- ・大型船舶が接岸可能な岸壁
- ・大規模な集積ヤード

貨物の集約化、  
船舶の大型化による  
輸送効率の向上

鉄スクラップは酒田港の主要貨物の一つで、公共岸壁、専用岸壁の両方で取り扱われています。海外の輸出先は遠隔地化・多様化が進んでおり、今後は効率的な輸出体制の確立が求められます。

このような状況に対応するため、リサイクルポート間の連携や、必要に応じた岸壁整備などを行い、貨物の集約化、船舶の大型化による効率的な輸出を目指します。

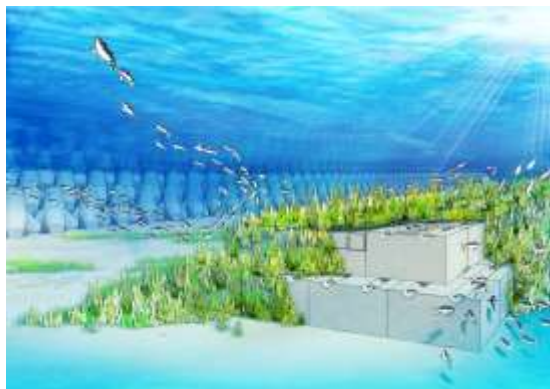


## 目指すべき方向性－２：リサイクルポートの高度化

### 施策２－２：産業副産物の有効活用

背後圏域で発生する産業副産物等について、環境保全につながる活動や新たな再資源化への取組みを促進する。

#### 酒田港内の環境改善のイメージ



#### 産業副産物の有効活用事例

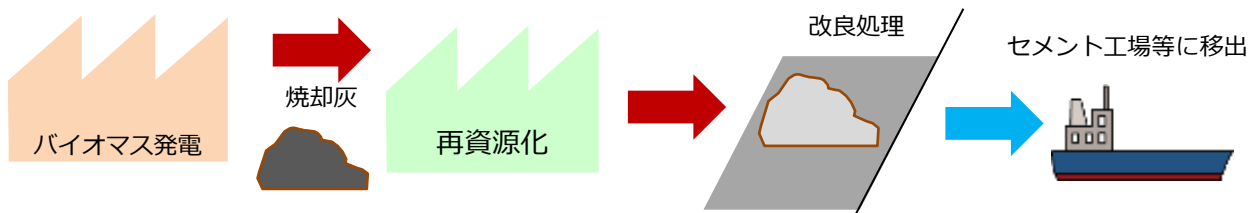
フライアッシュは、主にセメントの混和材やFRC砕石（再生砕石）として活用されている。さらなる活用として、フライアッシュ利用製品を藻場再生のためのブロックとして設置する取組みが進んでいる。ブルーカーボン生態系の活用によるCO<sub>2</sub>吸収源確保のため、それらの生産拡大が見込まれる。



大浜海岸での藻場造成実験  
出典：酒田FRC有限責任事業組合

#### バイオマス発電焼却灰の活用のイメージ

バイオマス発電で発生した焼却灰について、再資源化の取組みにより、有効活用を行う。



酒田港には火力発電所、バイオマス発電所が立地しています。現在も火力発電所から発生する石炭灰の一部は酒田港内に立地するリサイクル企業で再資源化が行われています。今後は背後圏も含めたバイオマス発電所の立地が進み、焼却灰の発生量の増加が見込まれています。

このように増加する産業副産物を有効活用するため、環境保全につながる活動や新たな再資源化への取組みを促進します。

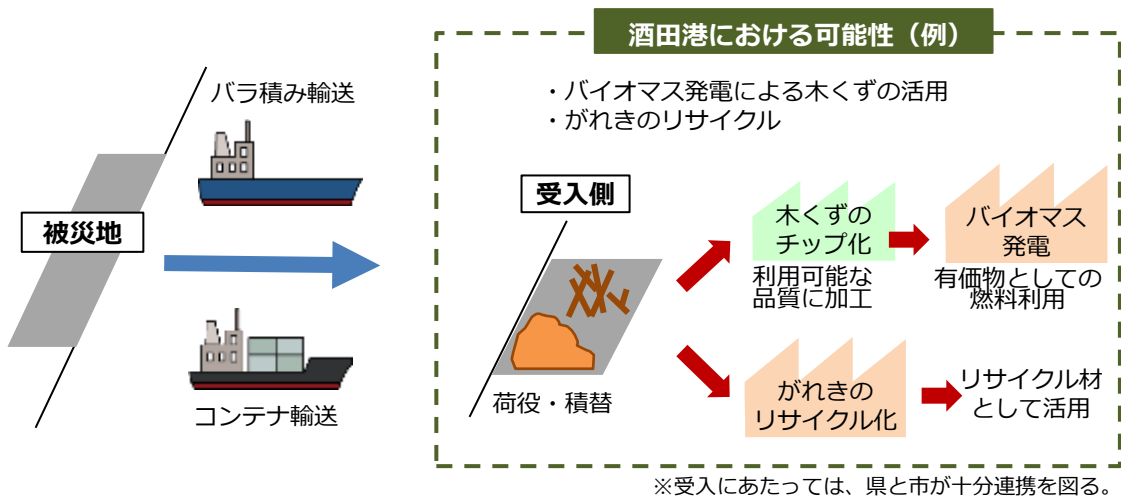
## 目指すべき方向性－2：リサイクルポートの高度化

### 施策2－3：災害廃棄物の広域処理への対応

リサイクル産業が集積している酒田港の特徴を活かし、災害廃棄物の広域処理の要請に対応できる港を目指す。

#### 災害廃棄物の広域処理のイメージ

国土交通省の「リサイクルポート施策の高度化に向けた今後の取組」において想定している廃棄物処理の流れと「受入側港湾」の役割を参考に、対応可能な災害廃棄物の受入れに取り組む。



#### 酒田港に立地するリサイクル産業



近年の災害の甚大化に伴い、被災時に発生するガレキ等の災害廃棄物への処理の対応が課題となっています。

酒田港周辺には多くのリサイクル産業が集積しており、その強みを活かし、災害廃棄物の広域処理の要請に対応できる港を目指します。